

おひさま通信

Vol.27

2021年12月発行

おひさま通信は、おひさま進歩エネルギー及びグループ会社の実施事業をご紹介する不定期発行冊子です

野底川小水力発電事業、2022年1月いよいよ着工へ

おひさま進歩エネルギー（株）の新たなチャレンジとして、2017年から飯田市を流れる野底川で小水力発電事業の実現に向けた調査、許認可手続きを進めてきました。昨年以降、水車の選定などの詳細設計、地域の皆さんへの水力発電に関する講演会、市民ファンド募集などの取り組みを進めて、2022年1月いよいよ着工を迎えます。



事業説明会、見学会を開催しました

野底川は、その水量や立地から発電所建設の候補地として選定。2018年から1年半にわたり事業可能性調査や生物調査を行いました。調査や計画に当たっては、地権者である地元財産区や漁協、まちづくり委員会（地域住民の自治組織）など、地域の関係者の皆様にご承諾を頂きながら進めてきました。

発電所の計画発電容量は340kW。世帯数で年間約700軒分の電気をまかなうことができます。新たなダムや貯水池はつくらず、既に設置されている砂防えん堤を活用して発電所を設置するため、環境負荷の小さい発電所です。

10月9日（土）、19日（火）には、地元の上郷公民館で事業説明会を開催しました。事業担当社員から、これまでの検討プロセスや事業計画案、運用体制、今後の工事スケジュールなどを説明し、質疑応答を行いました。

来場者からは「20年間のFIT終了後、事業はどうなるのか？」「災害時は発電を止めるのか？」等の質問が寄せられて、「FIT終了後も発電を継続し、最低でも50年間は続けたい」「土砂の多い荒天時には発電を停止して設備を保全する」などお伝えしていました。10月9日の説明会後は、事業予定地の見学会も開催。地域の方々の期待に応えられるよう、着実に事業を進めています。

今後は、事業主体である野底川市民発電株式会社（代表取締役：菅沼利和）が小水力発電事業を実施します。



野底川水力ファンド、3カ月で募集終了

野底川小水力発電事業について8月2日より、おひさま自然エネルギー株式会社（愛知県名古屋市：第二種金融商品取引業者東海財務局長（金商）第171号）を募集代行者として、事業費の一部1億5000万円を募集する「野底川水力おひさまファンド」の募集を開始しました。おかげさまで予定金額に達したため、11月4日をもちまして募集締切となっております。多くの皆さまよりご出資いただき、誠にありがとうございました。

募集代行者	おひさま自然エネルギー株式会社
組合名	野底川水力おひさまファンド匿名組合
営業者	野底川市民発電株式会社
募集総額	1億5000万円 A号 750口（7500万円）／B号 150口（7500万円）



上郷公民館で開催した事業説明会



現地見学会の様子



野底川水力発電ファンドの募集資料

おひさま システム 2021

地球温暖化の防止
エネルギーの地産地消
「自宅の屋根に太陽光発電を!!」



「おひさま0円システム」の仕組み



■ 対象地域：長野県飯田市、下伊那郡町村、上伊那郡市町村

■ 基本メニュー

パネルの設置容量（3.5kW、4.6kW、5.6kW、6.7kW）ごとに基本料金（10年間、毎月定額のお支払い）を設定※1

■ 蓄電池メニュー

蓄電池（負荷限定型、全負荷型）も初期費用0円で設置が可能です。

※1 屋根の状況等により、初期費用をお願いすることがあります。

太陽光発電設備のメンテナンス

太陽光発電の設置、設備管理を始めて今年で17年。これまで定期的な検査や故障対応を通じて、安定した発電量を確保しながら、メンテナンスの知見を蓄積してきました。いつも発電設備をどのように管理、見守りをしているかご紹介します。



【目視での確認 パネル破損】

パネル表面は強化ガラスで覆われていますが、まれにひび割れが生じます。原因はカラスによる落石、フレームや架台の変形等です。保険適用できるものは新たなパネルに交換します。強化ガラスの厚さは3-4ミリが一般的。パネルには決して乗らず、強い力を加えないでください。



【ソコデス測定】

目視では分からぬ故障を見つけるため、太陽光パネル測定検査装置ソコデス（SOKODES）による検査も実施しています。屋根には上らず、接続箱に測定器を当てるだけで、全てのストリング（系統）の開放電圧、回路抵抗を測定。パネルの不具合を発見できます。



【パワコンの計画交換】

パネルで発電した電気（直流）を家庭で利用できる交流に切り替えるパワーコンディショナ（パワコン）。おひさまファンド1号～3号の設備は、十数年が経過して故障例が出ていたため、2年前からは故障する前に新品へ計画的な交換を始めています。

おひさま進歩エネルギー（株）は2009年から、初期費用0円でパネル設置する「おひさま0円システム」を通じて、太陽光発電の普及に取り組んできました。

「おひさま0円システム2021」では、パネルに加えて蓄電池の0円設置メニューも提供してパネル+蓄電池の導入を支援しています。

ご自宅、集会施設、事務所へのパネル、蓄電池設置を検討されている方は、お気軽にお問い合わせください。

【5つのポイント】

1、初期費用0円

10年間月々定額の料金でお支払い。

2、省エネすると家計にやさしい

使う電気を減らして売電量を増やすと、月々の負担を減らせます。

3、非常電源にも

停電時、太陽光が発電する時間帯は非常用コンセントが使えます。

4、10年間の安心保証

見守りシステム「おひさまモニター」で発電状況を見守り。

5、クリーンな電気

気候変動の要因の一つであるCO₂を排出しない電気です。

■ 飯田自然エネルギー大学第2年次がスタート



根羽村「低コスト再造林プロジェクト実証実験」現場、森林組合製材所、村役場など視察

太陽光発電や小水力発電、木質バイオマス事業など地域に根差した再生可能エネルギー事業に取り組む人を育てる「飯田自然エネルギー大学（第3期）」は、11月20日（土）21日（日）の第10回授業から、第2年次カリキュラムが始まりました。

昨年11月の入学式以降、新型コロナウイルスの影響で対面とオンライン受講を併用して実施してきましたが、全国的に感染状況が落ち着いてきたため、第10回は初めて受講生18人が飯田市に集合。学長の諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）をはじめとする講義、受講生の事業構想をもとにした事例研究、長野県根羽村で木質バイオマス事業の実地研修を、2日間にわたって行いました。

今後は2022年7月の修了に向けて、月1回ペースの講義や実地研修で現場の課題を学び、それぞれの事業計画を深めていきます。

■ まちづくり電力 子育て応援プラン対象を中学生以下に拡大

おひさま発電所が生み出した自然エネルギー（FIT電気）を提供する電力小売会社「飯田まちづくり電力株式会社」（代表取締役原勉）は、2020年4月から家庭向けプラン販売をスタート。連携協定を結んだ飯田市、泰阜村で子育て応援割引プラン、UIターン移住応援割引プランの契約を受付けています。

子育て応援プランは、これまで契約時に3歳未満のお子さまのいるご家庭を対象としてきましたが、12月1日より対象を中学生以下に拡大。より多くの皆さまに契約いただけるように進化しました。ご契約いただくと、毎月の電気料金が1000円割引になる、とてもお得なプランです。

「飯田まちづくり電力」では、契約切替えのご相談、切替えの試算など受け付けています。まずは、お気軽にお問い合わせ、ご来店ください。

〒395-0045 長野県飯田市本町1丁目15番地
(トップヒルズ本町1階)
TEL : 0265-53-0130 <http://iiden.co.jp/>



■ 飯田市三穂小学校で環境学習授業

飯田まちづくり電力（株）は、地域貢献事業として飯田市内の小学校で環境学習プログラムを提供しています。

11月4日（木）、飯田市三穂小学校4年生～6年生39名を対象とした環境学習を開催。授業は、おひさま進歩エネルギー（株）の環境学習グループが受託して取り組みました。



地球温暖化の状況について、ここ数年の大規模な気象災害や農作物への影響を紹介。その上で、温暖化をはじめとする気候変動が、化石燃料の使用に伴う二酸化炭素（CO₂）が増えすぎたことで生じていることを写真やグラフを交えて紹介しました。

後半はグループに分かれて、温暖化を止めるために「自分たちが今できること」「大人になったらしたこと」というテーマでアイデアを出し合いました。

このような取り組みを通じて、身近な電気やエネルギーの選択が、気候変動に与える影響について伝えていきます。

子育て応援割引 割引対象年齢 拡大

中学生まで割引対象になりました。

子育て応援割引 毎月の電気料金より **1,000円 割引**

期間: 2年間

対象: 契約時に中学生以下の子様を持つ世帯

対象エリア: 飯田市 泰阜村

適用条件: 男女・家庭向け電力プラン（「シンプルプラン」）をご利用中もしくは、あなたに申し込みいただくこと。
※シンプルプランとは、基本料金0円のプランです。

その他割引事項などございます。裏面をご確認ください。
詳しくは飯田まちづくり電力（株）のHPまたはお電話にてお問合せください。

(株)飯田ケーブルテレビ（株）飯田まちづくりリサイクルなどが運営する新電力会社です

飯田まちづくり電力株式会社
飯田市本町1丁目15-トップヒルズ本町1階
営業時間：平日 9:00-17:00 <http://iiden.co.jp/>

電気のことお気軽にご相談ください
0265-53-0130
担当: 海部（かいべ）・藤田（とうた）

■自治体の2050年ゼロカーボン計画策定事業

気候変動を止めるため、2050年ゼロカーボン達成に向けた取り組みが国内外で加速しています。

国内では、10月末に開催された国連の気候変動対策会議（COP26）に先立ち、2050年カーボンニュートラルや2030年に向けた温室効果ガスの削減目標を盛り込んだ「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、5年ぶりに改訂されました。計画では2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度から46%削減という目標が盛り込まれ、建築物の省エネ化、再生可能エネルギーの最大限導入などの取組みが示されました。



再エネ導入戦略策定に向けた小水力発電可能性調査

今年度、飯田市周辺の2自治体で「地方公共団体実行計画（区域施策編）」策定業務を、また1自治体で「再エネ導入戦略策定業務」受託して、計画策定を支援しています。

地方公共団体実行計画（区域施策編）は、自治体のCO₂排出量を把握した上で、2050年ゼロカーボン実現に向けた省エネ化、再生可能エネルギー導入、普及啓発等の取り組みを地域住民と事業所、行政がどのように進めていくか定めるものです。

また再エネ導入戦略策定は、環境省の補助事業で、地域に再エネを最大限導入するための実現可能性調査を行い、2050年に向けた導入戦略を定めるものです。

このような計画策定業務を通じて、住民、事業所、行政がそれぞれゼロカーボン化の取組みを、地域課題の解決と合わせて進めていけるよう支援していきます。

■2022年春、おひさま社屋が引っ越しします！

2014年から、飯田市馬場町の旧飯田測候所に事務所をお借りして、社屋として利用していましたが、ただいま引っ越しを計画中。2022年春、飯田市鼎地区にある旧鼎商工会館への移転に向けた準備を進めております。

おひさま進歩社の社屋は2004年、飯田市本町いとうや2階事務所をお借りしてスタート。旧飯田測候所は2014年、飯田市から建物の指定管理業務を受託して以降、7年間にわたり施設管理をしながら事務所としてもお借りしてきました。おかげさまで社員も増えて手狭になったため、昨年から新たな事務所探しを進めていました。

移転後の住所など、詳細は公式サイト等で隨時お知らせしていきます。



おひさまエッセイ

先日、飯田自然エネルギー大学の第2年次カリキュラムが始まり、受講生の皆さんのがワークショップ形式でビジネスプランを発表するなど大いに盛り上りました。これまでオンラインでしか会えなかつたので、一堂に会することができたのが皆さんとても嬉しかったようです。新型コロナウイルスで世の中が大きな被害を受ける中、仲間と顔を会わせられること、私どももこうして事業を続けられることを、とてもありがとうございます。

一方、今年は、世の中が脱炭素社会へと向かう流れが、いよいよ鮮明になった年だったのではないかでしょうか。企業が再エネに投資するなどのニュースも多く、「CO₂をゼロにしたい」という声もよく聞くようになりました。私どもも自治体のゼロカーボン計画策定をお手伝いする中で、そうした変化を感じています。

メディアなどではCO₂を削減する新技術に期待する論調が見られますが、私は少し違うのではないかと考えています。CO₂削減への貢献度が大きいのは再エネと省エネで、そのためには私たち一人ひとりが生活を顧みて取り組むことが大事だと思うのです。

すごい速さで変化する世の中ですが、初心を忘れずに、草の根から再エネを広げる事業を続けていきたいと思いますので、引き続いてのご理解とご支援をお願い申し上げます。

おひさま進歩エネルギー(株)取締役 海部岳裕



おひさま進歩エネルギー株式会社

〒395-0027 長野県飯田市馬場町3丁目411番地

TEL 0265-56-3711、FAX 0265-56-3712、メール info@ohisama-energy.co.jp

HP <http://ohisama-energy.co.jp/>